

# クリムト展 ウィーンと日本 1900

## 東京都美術館 ティーチーズ・ウィークのご案内

この度、東京都美術館では、2019年4月27日（土）から5月6日（月・祝）の期間を「ティーチャーズ・ウィーク」とし、学校教員の皆様を本展覧会にご招待いたします。美術館での鑑賞授業に向けた研修の一環として、ぜひご活用ください。参加ご希望の方は、あらかじめ別紙の参加申請書を記入の上、参加当日にご持参頂き、本展展示室入口のスタッフにご提出ください。なお、2名以上でご参加される場合には、教員1名につき1枚ずつ参加申請書をご持参ください。

※参加申請書は東京都美術館ウェブサイト (<https://www.tobikan.jp/learn/teachersday.html>) からダウンロードすることもできます。

◎対象：小・中・高等・特別支援学校の教員

◎日程：4月27日（土）、28日（日）、29日（月・祝）、30日（火・祝）、5月1日（水・祝）

5月2日（木・祝）、3日（金・祝）、4日（土・祝）、5日（日・祝）、6日（月・祝）

以上の中から希望日を参加申請書にご記入ください。

◎開室時間：9:30～17:30 ※5月3日（金・祝）は20:00まで

（いずれも入室は閉室時間の30分前まで）

◎会場：東京都美術館（〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36）

◎アクセス：JR上野駅「公園口」より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分、京成電鉄京成上野駅より徒歩10分（※駐車場はございませんので、車でのご来館の際はご注意ください。）

### ◇◇◇次回ティーチャーズ・ウィークのお知らせ◇◇◇

次回のティーチャーズ・ウィークは、夏休み期間中に開催します！対象となるのは京都を拠点に活躍する現代作家、伊庭靖子の展覧会です。同時代の作家の作品を鑑賞することは、今の時代の多様な表現に触れることができるだけでなく、普段は接する機会の少ない「アーティスト」という1つの職業・生き方に子供たちが会うことにもつながります。また、「見ること」の本質を問いなおす伊庭の作品は、何気なく行っている「見る」という行為を子供たち自身が柔軟に捉えなおすきっかけにもなるかもしれません。ぜひ、夏休みの校外学習や美術部でのご来館をご検討いただき、その下見の機会としてこのティーチャーズ・ウィークをご活用ください。

実施日：2019年7月20日（土）～7月28日（日）（7月上旬より当館ウェブサイトでご案内開始）

展覧会名：「伊庭靖子展 まなざしのあわい」

画家の眼とモチーフのあわいにある世界に魅せられた伊庭靖子（1967-）は、触れたいくなるようなモチーフの質感やそれがまとう光を描くことで、その景色を表現し続けてきました。今回の展覧会では、東京都美術館で撮影した写真をもとにした絵画をはじめ、版画、さらに新たな試みとして映像作品を発表する予定です。伊庭の個展は、2009年の「伊庭靖子——まばゆさの在処——」（神奈川県立近代美術館）以来、美術館では10年ぶりの開催となります。本展覧会では、近作・新作を中心に紹介しながら、そこに至る以前の作品も併せて展示することで、この10年の変化とともに伊庭靖子の変わらない関心の核に迫ります。

展覧会特設サイト：<https://www.tobikan.jp/yasukoiba>

〔お問い合わせ〕

東京都美術館 アート・コミュニケーション係 スクールプログラム担当

TEL：03-3823-6921（受付時間 9:30-17:30）

# 東京都美術館 ティーチャーズ・ウィーク 参加申請書

参加日	2019年            月            日 (            ) (4月27日(土)、28日(日)、29日(月・祝)、30(火・祝)、5月1日(水・祝)、2日(木・祝)、3日(金・祝)、4日(土・祝)、5日(日・祝)、6日(月・祝)のいずれかをお選びください。)
参加教員名	
担当教科	
展覧会名	クリムト展 ウィーンと日本 1900
申請理由	小学校及び中学校、高等学校、特別支援学校の教員が、美術館と連携した教育課程に基づく教育活動を検討するための研修として参加するため

上記のとおりティーチャーズ・ウィークへの参加を申請します。

2019年    月    日

東京都美術館殿

学校名  
郵便番号  
住所  
  
電話番号

教員氏名 (自筆)

\*学校長印は不要です。

\*\*\*\*\*

今後の活動の参考のためにアンケートへのご協力をお願いします。

当てはまる回答に○を付けてください。

① 今までに美術館を活用した教育活動を行ったことがありますか？

(1) ある      (2) ない

② 今後の美術館と連携した教育活動について、どのようにお考えですか。

- (1) 「クリムト展 ウィーンと日本 1900」での教育活動の実施を検討している。
- (2) 「クリムト展 ウィーンと日本 1900」について児童生徒に伝えたいと考えている。
- (3) 「クリムト展 ウィーンと日本 1900」を参照として、別の機会に活動したいと考えている。

ご協力ありがとうございました。

東京都美術館

\*\*\*\*\*web